

一

[illegible]

平壤遊覽團出發



平壤遊覽團のメンバーたち

一千の団員を乗せて
新緑の柳都へ
平壤遊覽團の南大門出發

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△十二輛の車に一杯
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

牛蕃物語
妻が離婚を有つた族

牛蕃物語。妻が離婚を有つた族。牛蕃物語。妻が離婚を有つた族。牛蕃物語。妻が離婚を有つた族。

米人開門を撮
影して捕はる

米人開門を撮影して捕はる。米人開門を撮影して捕はる。米人開門を撮影して捕はる。

因果世の中
男系の子を以て

因果世の中。男系の子を以て。因果世の中。男系の子を以て。因果世の中。男系の子を以て。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

△星の花が降る
△日清戦争に従軍
△區々の神様を信

平壤市中で日曜に何れかあれば、必ず平壤に遊覧客が来る。平壤は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。平壤の春は、五月から六月にかけて、最も美しい季節である。

移轉ト電話開通

太平通武丁目五拾
移轉場所 八番地ノ貳

長距離電話 一〇二八番

廣江商會假事務所

鉛鑲買入開始

從來金、銀、銅、鉛、重石鑲買致居候
處本月ヨリ更ニ鉛鑲買入開始仕候ニ付鑲
量ノ多少ニ不拘種々御送鑲ノ程希望仕候

目下選鑲場建設中ニ付之方竣工次第
代金御支拂可申候

大正五年五月

株式會社鎮南浦製鍊所

祝平壤遊覽團成功

産國

ルービロポッサ

ルービヒサア

多く賣れる

ビールは

常に

新鮮なり

産國

ルービロポッサ

ルービヒサア

多く賣れる

ビールは

常に

新鮮なり


産國

子に火氣に焼かれて驚上つて、
天井の方でくたつてゐる。花のやうに肩の上へ舞つて來るのを興あげに眺めてゐたが、「あら、お父さま。御遊ばせよ。みんな所に水柱が下つてゐますよ。」と驚いたやうに叫んだ。暗な夜の視線は、窓の隅に投げられて、この天井の簀子から壁傳ひにぶら下



六月一日の夕方に、
六條深き古寺門に
廻し平張の七重の
義誠に趣極深く日
面白く拜讀仕り候
出来得る事なれば、引續き古職談御
記載被下候へば、成誠の至りに堪へず
候ひ申生。▲本町五丁目の妙女兵六
氏の家に亂犬二頭を飼ひ居り往來の
人に吠へ著き誠に困つたものにして
之を一つ殺したる最後態々八重
聖の親犬が出て、誰ひもせずして文句
を並へたることは何事か、遂に二匹の
犬を檢査して擧げざれば五日の内に
土に與ふる害犬なり(實見生)▲兵庫
縣々人會事務所に何所に有る哉御在
の方は、誠ににて御敬告願ふ(兵庫
縣人)▲私の處に猿、盆我がありま
すが、近頃其の葉に橘色的小さい點點
が出来て、雨天各葉面に傳染して行き
ます。幸い治療方法、御存じの御仁は
當誠で致へて下さい。(素人盆我家)
櫻草、姫菊の御二人さん、私はたゞ世
中の無情をかこちつて机の前に思ひ
案投出す一い態で、すう京城を出る
京の睦美君に告ぐ君は學校を出る
すぐ波鮮して官界に身をひそめたぞと
を聞いた時、僕は全身に恐怖の身振ひ
をした嗚呼惜しかなく!!君の胸に

<p>●貸家 菅東向京橋格安 管理者 菅東印柳閣の先 堀中483</p>	<p>御婦人美顔術並髪結 ●御婚儀衣裳等御卒業 東京帝國女藝大模範生 龍山元一町一丁目 倉地杉子 333</p>	<p>油繪橡付税關拂下品 特別安價提供 千數圓有 至急御來觀を乞明治町淺川額様店 333 任付高給外事員募集 京城黄金町三丁目</p>	<p>日本公債株式會社 支店部 ●貸家大和町二丁目四六九番 家賃拾七圓 水樂町七之五 電話五六六番311</p>	<p>●はねつさうじちみ等 一切の治療御依頼に應ず 明治道場 柔術道場</p>	<p>●讓店京城市本町 340 最目拔場所 所有利權質輕便 希望者は電話二三〇五番</p>	<p>年金 恩給給付の短期間無保險雜費 京武松樹町三番地電話八二二三番 北方日報社 ●國江商會 336</p>	<p>●京城發行人日藤幸介先生前出 ●京城發行人日藤幸介先生前出 ●大門廣橋自働車 ●南二丁目廣橋自働車 ●電話一九番 主務 金澤通入</p>	<p>●京都鐵道會 ●井上商會</p>	<p>●食料雜貨</p>
---	---	---	---	--	---	---	---	-------------------------	--------------



荒井の牛乳

滋養 健康 母上

胃腸病妙藥

タラコン湯

藥價 一圓分 一圓分 一圓分 一圓分
二圓分 一圓分 一圓分 一圓分
三圓分 一圓分 一圓分 一圓分

村井弦齋先生發見
胃腸病妙藥
タラコン湯

最近發見者の報告
今日にては略と云々
相成鮮大郎止門町五ノ三
初鮮大郎止門町五ノ三
病不煩煩大分宜敷なり
楚山四町二丁目七ノ十三
眼藥三日目より甚だ宜敷食物も次第
州郡類報前中
州郡松波錦盛兵衛出所
即座にて腸の工合非常
需用激增工場新設
藥効確實診療開始
無量壽藥園
東京小石川下富坂町廿
電話東京二〇〇二二



治ツタリ!
 多年困つた服病も
 一服で治る

大學目薬
 点眼して立派に

仁三本野
 洋服洋装
 目品
 絨布製品
 厚絹各種
 縮絹各種
 手巾各種
 洋傘各種
 信玄袋

京阪洋行
 大阪
 京都
 奈良
 和歌山
 高松
 徳島
 松山
 金沢
 富山
 石川
 福井
 滋賀
 京都
 大阪
 兵庫
 神戶
 岡山
 広島
 山口
 徳島
 高松
 松山
 金沢
 富山
 石川
 福井
 滋賀
 京都
 大阪
 兵庫
 神戶
 岡山
 広島
 山口

平遊歡
內地主御機密
名張牛
韓書房
告白
修道
男女の

せらるゝも腐敗の憂なき
 の味増殖
 紅露の花
 講話
 定價 八錢
 送料 八錢
 定額 九錢
 送料 六錢
 定額 五錢
 送料 六錢
 定額 七錢
 送料 六錢
 定額 八錢
 送料 六錢

時代の要求により創製の聲

最新鉄劑 フエロール

名譯 滋

梅毒症應用 沃

皮膚病新劑用 ア

氣管支症新劑用 ペン

フエロール 大 半月分 一灰
小 七十分分 一灰

●創製は各藥局あり ●販賣は五ツ橋力アリ

創業元

京都南門通	大阪東區道修町	新井
釜山游天門	山口港	大馬路
代理店	石田廣	

期間六月二日より八


德用

絹紬洋一割

營 鐘詰類漆器類瓦

母車 運送 便	日迄一週間	京城市町二丁目 高木用器店 電話三三四番	藥房 安東縣市橋井上藥舖	師小西久兵衛	度各小一日分八十錢也 其本價(注文あれ)	ヤコール フェロール	ルゼン フェロトル	度フェロナル	精應 補血營養	萬養劑 (醫家服用諸症)	平康大和町 電話二三番	山田商店
---------------	-------	-----------------------------------	-----------------	--------	-------------------------	---------------	--------------	--------	------------	--------------	-------------	------

▼ 新製品の見發新最下刊に購買は品本 ▼



英獨露佛の四つの國語に一とふりは
通譯してゐるほどの世界傳の千億も
何を言ふのか少と分らず。苦笑し
つゝ黙つて額ひのみだつた。

「城に少しお遊びになつてから、座
敷へ入らぬやうなやつに言つて居
ります。如何ですか、お嬢さま？」
雪國の娘連といふものゝ味にお聞れ
になつては」

大野は通譯して聞かせて、先づ真
先に城の中へ足を踏込ませて、見せ
た。千鶴も姉ともそれを手本に遊び
はじめた。城には太い櫓の櫓が縦横
に投入られた。塙はさかんに上る
『はいア、面白いわ。これが此邊
の煙爐ぢやね。成程どうして燃まつ
たら、幾人でも公平に火の恩恵に預
つた象のやうな、大きな白水晶に
まじつてゐた。』

「お、珍らしいのう。家の中にま
で氷柱が生じてある、は？ 家根の雪
が火氣に蒸されて融けかけつて、平
が流れて來たのが又た焚家の竈に凝
結したんぢや。よく秩父や野州迄に
京城市町二丁目浦尾旅館向ひ
内科
婦兒科
東京
城
醫院
電話七四二番
村上憲佑
村上憲佑

「左様でございますかね」
父子がこんな話をするのを、向上
個へ鍵の手に片寄つて、不思議さう

「旦那方はさう御座つしやるんだ
何處からお出なにつたす」
と訊いた子爵は髪をひねつて
「私だちか、是から熊鈴に行かうて
いのぢや」
「い？ 熊鈴？」一同は愕然として想
を見合つた。

■公州狂球會句集

▲青簾
青簾竹薄雲に描きたる
風に當む池亭青簾搖るまゝ
客贈受けし新刊の書や青簾
路次の奥の燈なき家や青簾
このわたり貸家の殖ふ青簾
風波る三十五樓青簾すたれ
人も無き縁に歌書散る青簾
樓の欄十五間 青簾
山の名を鳳山と申し青簾
すにて月ある樓や青簾

同鳥石毛
同如林
同雨

▲三日記

ならなかつた事は必然所謂自暴に依
 つて棄てられしならんぞ。然し船に
 いかん君の時折の動作は之れを否否
 するものである僕は君に對する徳來
 の師範の關係に此れから尊敬を加へ
 て君を迎へんとす君愛せよ君の隨君
 の快活は君の美術學校に入學の
 希望を有する時精進に於ては君に對
 して旗をまきかけて居た今君の方向
 を違へしを以て再び競争の念を咽う
 した僕は尙精進を研究せんの希望な
 り君見て居るなかれ師

山縣五十雄 村上唯吉共著
 定價十五錢
 郵税二錢

東京太平印刷部三〇〇番 東京毎日社代印

前記（移轉請品取揃）ニハ三三〇
茶花琴教授 月謝の由に各々
 師となる教長を受くる可也
 京大平通一氏 京城市報社西園街二丁目四番地 電話三四七
 北約三丁目四番地 日本木志重 三三七
子供入用 要身元六歳迄人
 京城市本一丁目 三五二
横山隆一 支店
 京城市本町二番地元中島病院跡
内科 胃腸呼吸科（入院随便）
兒科 門診病棟
山田醫院 電話二八八〇番
 本店新製 六十銭 小五銭
クリームキヤラメル 178
 パン木屋村支店 京城市明治町
 元祖 電話二八一七
電話口消毒器 販賣代461
 ※遠隔所手送可 ※専賣特許
 朝鮮特約名産 東京電氣設備商會
 京城市金町電氣設備商會
 日産機 大阪機十五號二十六號後者三十二號

最新高等かぜねつ良劑
キシリピナキ

本舖
大坂市
西區
金船場
三井物産株式會社



男用一打
四拾錢
製六拾錢
製七拾錢

ル・テサツク
變形特製一個參拾錢女用一個七拾錢
月經帶一個八拾錢書面各種要請

▲花柳病自宅療法
京坂永樂町二丁目
第拾號

ドラック 爾會滿鮮本部

陰萎病並に神經衰弱に大
効あり

滋
回春丸
腎

岸田吟香
口授四十七番

三
 甲の八月銀

胃腸病科
 迄時九夜察診
 石
 京城本町

日鮮人向
 陶磁器
 宮町
 仁川
 津田

今
 新町
 仁川
 津

業科目
 茶
 昆蟲
 雜穀
 海產物類
 布類
 文具類
 荒物類
 金物類
 履物類
 東朝ス陶

鮮魚 器石
 粉炭 油炭 炭 具 房
 ル ベ ヲ

電話 七六二番
 振替 東京二八九番

津田兄弟屋

兄弟屋支店

一丁目
 電話 專川三三九番
 電話 三三三番

川醫院

六月限 四千六百石